

団体名	県立島尻特別支援学校	連絡先 TEL : 098-998-8240 Eメール : school@simajiri-sh.open.ed.jp
-----	------------	--

## 1 実践事項 (②)

タイトル：「教科指導における授業の工夫・改善」

## 2 実践内容

- ①小学部：児童の実態に応じた学習グループを編成し、授業を行った。  
星本を活用して国語、算数の授業を行った。
- ②中学部：各教科の職員間で教科学習について研究・研修を行いながら教科学習を実践した。  
予習・復習としてのプリント学習を作成し、朝の活動(1校時)に取り入れた。
- ③高等部：学習意欲の向上、将来の社会参加に向けた取組として、各種検定へのチャレンジを推進。  
新学習指導要領(教科指導)について各教科や学部全体での研修を行い、授業実践を行った。

## 3 説明資料 (写真、グラフ、図、表など)

### ①小学部



ア. ペアで学び合いの様子



イ. 個別で学習する様子



ウ. グループで学習する様子

- ②中学部：生徒の実態に合わせてグループ編成を行い、視聴覚教材、ICT機器等を活用しながら授業を展開した。朝の活動として、各教科のプリント学習に取り組んだ。
- ③高等部：・漢字検定10級～3級へ13名が受検。・パソコン系検定(日本語ワープロ等)へ10名が受検  
・特別支援学校技能検定(接客部門・メンテナンス部門)へ3名が受検。・学習グループの編成。

## 4 成果

- ①小学部：学習への意欲が高まり、学習に向かう姿勢が整ってきた。学んだことを授業以外の場面で使おうとする姿がみられるようになり、学習事項が定着しつつある。
- ②中学部：各教科で学習した内容(知識・技能等)を実生活の中で応用・活用する場面が見られるようになってきた。各教科への関心を深め、意欲を持って学習に取り組むことができた。
- ③高等部：合格した生徒は次のステップへ、不合格の生徒は再度チャレンジするなど意欲的である。  
漢字検定では(3、7、10級、各1名)8級(2名)合格。  
特別支援学校技能検定(1級1名)(2級2名)パソコン操作部門(3級～10級10名)の認定。  
習熟度別クラスにしたことで、教科学習だけでなく、特活・総探等のクラス活動がスムーズに行うことができ、より生徒の実態に合った学習を行うことができた。

## 5 課題

- ①小学部：学年の学習グループ編成の体制を整えること(学級の枠を超えた体制、ティームティーチングの工夫等)。また、学習単元を年間計画に組み込んでいくために、職員間で共通理解を図る必要がある。
- ②中学部：各教科職員の人数の確保が課題である。教科学習の時間が増え、日常生活の指導をどのように補っていくか、検討が必要である。
- ③高等部：各教科の職員バランスの取れた人数確保と教科指導内容の検討等が課題である。  
学習の実態が幅広く指導時間の確保が難しい、パソコン室等の環境が不足している。